『コウノトリもすみたくなる自然なノダ』

第1回地域連携フォーラム

野田市自然経済推進部みどりと水のまちづくり課
野島　真紀

野田市の紹介

千葉県マスコットキャラクター
「チーバくん」

野田市の魅力

首都圏近郊で残っている「豊かな自然環境」

関東エコロジカル・ネットワークの推進

国（国土交通省）の取組

関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会
（事務局：関東地方整備局河川環境課）

コウノトリを指標とし、水辺環境の保全・再生推進のため国や自治体、学識者や民間企業等が議論。平成25年設立。

生態系ピラミッドの頂点

なぜ、コウノトリ？

コウノトリが年間を通じて生きることができる

その地域の水田、用水路、河川などはコウノトリやピラミッドの下にいる多様な生き物が生息できる豊かな環境の証明

コウノトリの飼育から放鳥へ

親近感

希少性

視覚的効果

平成24年12月

多摩動物公園からコウノトリ2羽（ペア）を譲り受け飼育開始

平成27年7月

幼鳥３羽を試験放鳥（初放鳥）
⇒**関東初**のコウノトリ放鳥を実現

平成27年以降、7年連続で14羽の放鳥を実施

コウノトリの個体数

野外：252羽（R4.1．31現在）、飼育：191羽（17施設）（R3。7。31現在）

うち野田市こうのとりの里（オス1羽、メス2羽　計3羽（R4.2月末現在））

こうのとりの里

R3.5.7　2羽のヒナが誕生
R3.8.11　「リン」、「ミズキ」放鳥

市内への飛来・滞在の様子

江川地区（こうのとり里）

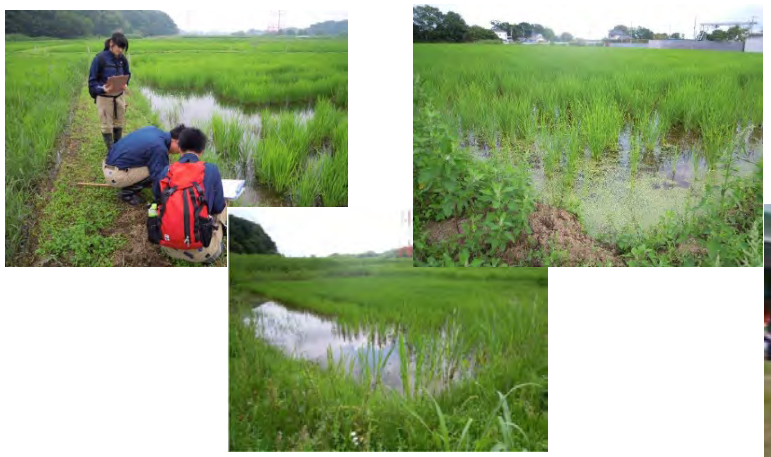
市内各所にコウノトリが飛来・滞在

木野崎地区

木間ケ瀬地区

人工巣塔設置（11月）

コウノトリを支える取組



自然環境整備

環境教育・環境学習

コウノトリボランティア活動

※活動経費の支援について

平成２４年から平成２６年
　提案型環境再生事業助成金
　（千葉県環境財団）

平成２７年から令和２年
　世界愛鳥基金（サントリー）

令和３年
　提案型環境再生事業助成金
　（千葉県環境財団）

自治体の連携

コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム

コウノトリ・トキの野生復帰を目指して、県域を越えた29市町（R3.4月現在）が参加

令和3(2021)年10月
埼玉県鴻巣市(代表理事)で飼育開始

生物多様性自治体ネットワーク

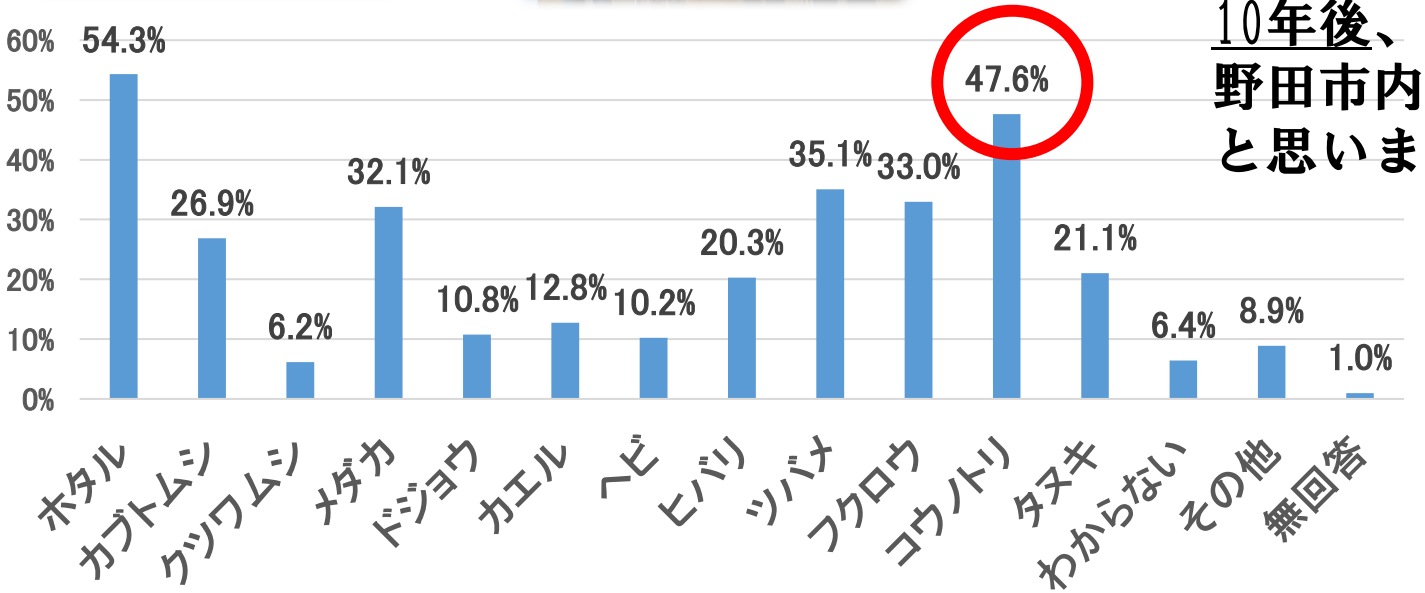
生物多様性の保全や持続可能な利用に関する取組などの活動を行っている。
参加数…185自治体（R3年2月現在）

子どもたちへの広がり

コウノトリ見学

バルーンリリース（木間ケ瀬地区）

愛称募集記念品



10年後、どんな生きものが野田市内でふえるといいなと思いますか？

コウノトリの認知度が高い

コウノトリが教えてくれること

コウノトリの見守り

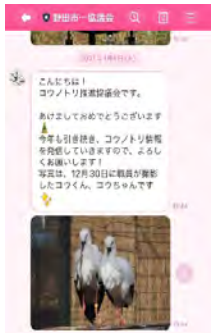
・・・自治体職員

・・・目撃および写真提供（個人）

ガバメントクラウドファンディング

ＳＮＳ等を活用したコウノトリ情報を発信

野田市公式LINEスタンプ



メディアへの掲載（一例）

豊かな自然環境を活かした地域活性化の実現へ

コウノトリ”も”すみたくなるまちづくり

コウノトリ「の」すみたくなるまち

ではなく

コウノトリ「が」すみたくなるまち

でもない

人もコウノトリもすみたくなる
まちづくりの実現 へ・・・

ご清聴ありがとうございました